



文化・教養・スポーツ

お知らせ

日(日)、午前11時〜午後6時。会場によって開催・終了時間が異なります。

2763へ。

市民芸術祭  
ギャラリー部門

1 出演団体募集  
内容 ①音楽(全てのジャンル) ②パフォーマンス(ダンスなど音楽をBGMで行うもの)。

▽期日・内容 5月28日、6月1日〓書道展。6月11日〓日本画・彫刻・工芸展。6月25日〓29日〓洋画・版画展。7月16日〓20日〓写真展。

市民芸術祭軽音楽祭  
ミヤ・ストリートギブ  
参加者・サポーター募集

▽日時 5月10日(土)・11

▽費用 1ステージ1人2000円、高校生以下は1000円(運営協力費)。

▽会場 文化会館(明保野町)。

投票しよう 社会総ぐるみによる人づくりの合言葉

▽候補 左の表の通り。  
▽対象 市内に在住か通勤・通学している人。

▽日時 2月24日〜3月24日の月曜日、午後1時30分〜3時。全5回。

▽日時 2月13日(木)午後1時30分〜3時。

合言葉の候補

1	大人を見つめて子どもは変わる	
2	子どもから大人まで 人間力向上宣言 宇都宮	
3	育もう 地域の愛で 子どもの未来	
4	宮っ子の手本 大人が魅せます 宇都宮	
5	大人が手本を見せます 宇都宮	

▽内容 海外からのゲストをおもてなしする際に使える便利な表現やフレーズ、文化的な違いなどを学ぶ。

▽定員 先着80人。

教室・講座

英語のレベル不問  
ホストファミリーのための  
英会話講座

市民運営講座  
馬頭琴・たて笛の演奏  
とホーミー鑑賞

入会金(年会費2000円)とホスト登録が必要。

◎とびやま歴史体験館でつるし雛、大集合 〓日時 2月15日〜3月30日、午前9時〜午後5時。入館は午後4時30分まで〓会場 とびやま歴史体験館(竹下町)〓内容 地元の愛好家による作品を多数展示。

〓とびやま歴史体験館☎(667)9400

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用〓無料、申込〓不要。HP〓ホームページ、Eメールアドレス、〓地域自治センター、〓地区市民センター、〓出張所、〓生涯学習センター、〓生涯学習センター、〓のびやま表参道スクエア、〓地域コミュニティセンター、〓市民活動センター

# 図書館へ行こう

■東図書館企画展 あの日を忘れない 東日本大震災

1 企画展示

▽日時 2月21日～3月18日、午前9時30分～午後7時▽会場 東図書館（中今泉3丁目）▽内容 県内の震災当時の写真、東日本大震災関連本の特集。福島県立図書館から借り受けた本や当時の新聞、関東地方整備局から提供された復興作業の様子が分かる写真の展示。

2 映画上映会

▽日時 3月8日(土)午前10時～午後2時～の2回▽会場 東図書館▽内容 福島県を中心に被災した障がい者や関わる人々の証言をまとめたドキュメンタリー「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」(上映時間74分)▽定員 先着70人。

●東図書館 ☎(638)5614

■東図書館生活支援講座 新聞記事から学ぶ「文章術」

▽日時 2月19日(水)午後2時～4時▽会場 東図書館▽内容 下野新聞社「しもつけ新聞塾」講師による、新聞記事から学ぶ文章術の講演と投稿文の書き方

など▽定員 先着40人▽申込 2月4日午前9時30分から、直接または電話で、東図書館 ☎(638)5614へ。

■南図書館の裏側を見学 図書館探検ツアー

▽日時 3月15日(土)午前11時～正午と午後2時～3時の2回▽会場 南図書館▽内容 図書館の便利な使い方、普段は入れない裏側の案内など▽対象 小学生以上の人▽定員 各先着20人▽申込 2月25日午前9時30分から、直接または電話で、南図書館 ☎(653)7609へ。

■南図書館でお薦め本の書評合戦 ビブリオバトル参加者募集

▽日時 3月23日(日)午後2時～▽会場 南図書館▽内容 お気に入りの本を持ち寄って、その面白さについて5分程度のプレゼンテーションを行い、どの本が一番読みたくなったかを聴衆者の多数決で決定する書評イベント▽定員 ①プレゼンテーション参加者＝先着12人②聴衆者＝先着50人▽申込 ①のみ2月14日午前9時30分から、直接または電話で、南図書館 ☎(653)7609へ。

7つの顔」と題した、阿部邦男さん(文学博士)による講演。  
▽定員 先着40人。  
▽申込 2月5日午前9時30分から、直接または電話で、南図書館 ☎(653)7609へ。

## ドリームプールかわちで水泳教室 基礎コース

▽日時 4月9日～6月11日の水曜日、午後3時10分

▽4時。全8回。  
▽会場 ドリームプールかわち(白沢町)。  
▽内容 水泳の基礎について学ぶ。  
▽対象 市内に在住か通勤している社会人。  
▽定員 抽選15人。  
▽費用 1660円(受講料)。  
▽申込 往復はがきの往信に教室名・住所・氏名・電話番号を、返信に、郵便番

## あなたの健康を応援 スポーツ健康体力相談

号・住所・氏名を書き、2月28日(消印有効)までに、〒329-1102 白沢町179-1-3、ドリームプールかわち ☎(673)0212へ。  
▽日時 3月12・26日(水)、午後1時～2時30分と午後3時～4時30分の2回。  
▽会場 明保野体育館(明保野町)。

## 催し

### うつのみや人づくりフォーラムと地域教育メッセ

■日時 2月15日(土)午前9時30分～午後2時30分。  
■会場 南図書館他。

1 うつのみや人づくりフォーラム「夢をはぐくむまちうつのみや」  
▽内容 子どもたちによるステージ発表、いわむらかずおさん(絵本作家)による講演会と、大場俊一さん・大場文恵さん(ピアノスト)の演奏で絵本「14ひきのあさごはん」の読み聞かせ、子ども向けの職業体験「宮っ子タウン」、ニュースポーツ体験、宇都宮工業高校ロボット教室、食べ物販売など。

●問うつのみや人づくり推進委員会事務局(教育企画課 ☎(632)2707)

▽内容 トレーニングメニューの相談と提供。  
▽定員 各先着10人。  
▽費用 500円(参加費)。  
▽申込 2月3日午前9時から、電話で、市スポーツ振興財団 ☎(663)1611へ。

### 日本文化 ふれあいの会



▽日時 2月16日(日)午前10時～午後2時。  
▽会場 市役所14階大会議室。

▽内容 日本文化の発表・伝統楽器の演奏・日本の踊り・抜刀・着物ショーなど)や日本文化体験(着付け・折り紙・生け花・書道・茶道・ちぎり絵・繭細工など)を通して、在住外国人たちに日本文化の素晴らしさを伝え、交流する。  
▽費用 中学生以上300円、小学生100円(参加費)。  
●問 市国際交流協会 ☎(616)1870

●下野民話の会・野州語りの会・民話楽楽会・栃木の民話がたり かまどの会・絆の会5団体による「うつのみや民話の集い」▽日時 2月15日(土)午後2時30分～3時30分▽会場 中央図書館(明保野町)。

●文化課 ☎(632)2768

# 催し

## 宇都宮美術館外プロジェクト「おじさんの顔が空に浮かぶ日」

▽日時 2月23日(日)午後3時～5時。  
▽会場 下野新聞NEWS CAFE(江野町)。  
▽内容 「顔」浮上の実現を目指す「顔あげ隊」(市民ボランティア)による公開ミーティング。  
▽対象 現代美術で宇都宮を盛り上げるプロジェクトに興味のある人。

## セント・パトリックデイに向けて 小人妖精を作ろう

▽日時 3月8日(土)午前10時30分～正午。  
▽会場 市民プラザ(馬場通り4丁目・5階)。  
▽内容 鈴木あきこさん(造形教室講師)を講師に、紙粘土に色を付けたリフレットなどを貼ったりして、靴作りの小人妖精レプラコーンを作る。作品は市民ギャラリーに展示後返却。  
▽対象 市内に在住か通勤

●宇都宮美術館 ☎(643) 0100

# 宇都宮の伝統文化

## 伝統食「しもつかれ」

県を代表する郷土料理である「しもつかれ」は、近年では一年中店頭で販売されていたり、学校給食で出されたりしています。もともとは、旧暦二月初午に作り、わらで作った入れ物(ワラット・ツトッコ)に入れ、お稻荷様に赤飯と共に供え、商売繁盛・五穀豊穡を祈ったものです。鬼おろしといわれる、竹でできた目の粗いおろし器

で大根をおろし、節分の残りの大豆・塩引きサケの頭・ニンジン・酒かす・油揚げなどと共に大きな鍋で煮ます。材料は皆残り物であることが特徴です。  
旧暦二月初午は、現在の三月中頃です。その頃は保存していた農作物も少なくなりません。そこで人々は残り物を用いてしもつかれを作ったのです。

しもつかれは、大変栄養に富んだ食べ物でもあり、昔の人は、橋を渡らずに7軒の家のものを食べると病気に掛からず長生きするといいました。(宇都宮伝統文化連絡協議会 吉野ひろみ)  
■人づくりフォーラムで伝統文化協議会によるしもつかれの試食とミニ料理教室  
▽日時 2月15日(土)午前11時30分～午後2時。  
▽会場 南図書館(雀宮町)。  
●文化課 ☎(632) 2768

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用は無料、申し込み不要。  
HPホームページ、Eメールアドレス、地域自治センター、地域市民センター、出張所、生涯学習センター、地域コミュニティセンター、市民活動センター

## 上河内民俗資料館 雛人形展



▽期間 2月1日～3月2日、午前9時～午後5時。入館は午後4時30分まで。

## 竹下浅間山古墳とその時代 うちのみやの横穴式石室を考える

1 企画展  
▽期間 2月11日～3月16日。  
▽内容 発掘調査から40年を経た竹下浅間山古墳を中心に、市内の横穴式石室から出土した遺物などを展示。市内の横穴式石室の世界を紹介。  
2 講演会  
▽日時 3月2日(日)午後1時30分～3時30分。  
▽内容 「下野の横穴式石室」と題した、市橋一郎さん(日本考古学協会会員)による講演。

▽会場 上河内民俗資料館(中里町)。  
▽内容 各家庭に残されているひな人形を一堂に展示。  
●上河内民俗資料館 ☎(674) 3480

## 宇都宮城歴史講演会 宇都宮氏血脈総覧 全国に観る宇都宮一門

▽日時 3月2日(日)午後2時～4時。  
▽会場 市役所14階大会議室。  
▽内容 島遼伍さん(作家)による、講師作成の宇都宮氏の系図を参考に、当時の宇都宮氏の勢力について学ぶ講演。

▽定員 先着50人。  
●会場 とびやま歴史体験館(竹下町)。  
■申込 2 3 電話またはファクス(住所・氏名・電話番号を明記)で、とびやま歴史体験館 ☎(667) 94001へ。00、FAX(667) 94001へ。

3 歴史講座  
▽日時 3月16日(日)午後1時30分～3時30分。  
▽内容 「宇都宮の横穴式石室」と題した、市職員による講座。

▽定員 先着80人。  
●会場 南図書館(雀宮町)。  
●文化課 ☎(632) 2768

●文化協会美術展 ▽期間 2月22～25日、午前10時～午後5時。ただし、22日は午後1時から、25日は午後4時まで▽会場 文化会館(明保野町)▽その他 2月22日(土)午後2時～ソプラノ歌手2人によるオペラコンサート。●市文化協会 ☎(632) 2746

# 市民俳歌柳壇

ミヤリーマークは  
ジュニアの句・首です。

## 歌壇

安野登美子 選

◎選評 フィギュアスケート全日本選手権大会。1万8000人の観客が総立ちとなった高橋大輔さんのフリーの演技。「悲鳴にも似たる歓声」が現況を熱く感動を自分のものにする。「滑り終へたり」の完了に深い余韻が。結句の名詞止めにも最後まで逃げなかつた高橋大輔さんの姿を彷彿させる。

白菜がほどよく漬かりさくさくと  
嘯めば厨に朝日射し来ぬ  
はるかなる男体山はむらさき  
頂白く冬近づきぬ

下岡本町 高尾 信尚  
下荒針町 石川 幸子

補聴器を体の一部と耳に付け時  
雨降る音わびしくききぬ  
拙くも載りたる短歌にときめき  
て心早やりぬ亡夫の墓前へ

清原台5丁目 赤羽 スミ  
雀の宮1丁目 諸根美代子

## 俳壇

星田一草 選

◎選評 湯豆腐のたぎる様子から家庭の食卓のたたずまいが浮かんで来る。傍らに熱燗の2・3本が添えられていることだろう。鍋を囲んでの楽しいひとときが始まるうとしている。「人を待つ」の措辞が家庭とは限らず旧友との再会などいろいろなうたげが想像できる。

湯豆腐のほとほと揺れて人を待つ  
恵方へと跳ねて那須野の駿馬かな  
竜の玉探れば仄と陽の温み

緑2丁目 横尾 静子  
下岡本町 荒川 玲子

湯豆腐や北山杉の香り立つ  
松手入すみし庭師の背に落暉

今泉5丁目 丸田 守  
峰町 瀬田 福子  
雀の宮2丁目 松本きよ子

悲鳴にも似たる歓声幾たびに滑り終へたり高橋大輔

●清原台5丁目 北市 邦子

## 柳壇

荒井宗明 選

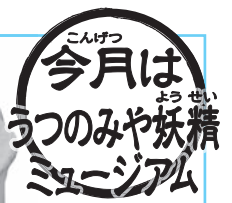
◎選評 平成も26年、日本の社会構造も大分変わった。その中で、政治、経済から趣味にまで進出した女性パワーは特筆される。山ガールもその一つである。その昔「山の神」の支配により「女人禁制」の山に至る所にあつたが、今は山ガールの足下にある。人間の女性も時を得れば「山の神」と呼ばれて強い権力を持つことがあるが、単なる偶然だろうか。

遭難碑どこ吹く風か山ガール  
神様を寝不足にする三ヶ日  
身辺がキナ臭くなる秘密保護

西川田1丁目 武藤 隆夫  
西川田5丁目 菱田 武彦

守り神めいて苔むす庭の石  
欲ばつてつぺんに立つ風見鶏

不動前2丁目 山中ヒロ子  
平松本町 鶴牧三千弥  
城東1丁目 綱川 光江



うつつのみや？  
なぜなに？

うつつのみやにまつわる「はてな」をミヤリーと友だちのハッピーが紹介するよ。

「うつつのみや妖精ミュージアム」について教えて

まちなかにある「うつつのみや妖精ミュージアム」ってどんなところなの？

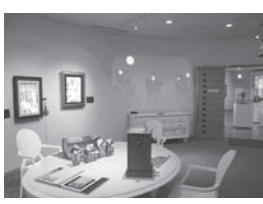
うつつのみや妖精ミュージアムは、表参道スクエアの5階にあるんだけど、妖精に関する挿し絵本や絵などが展示されているんだよ。他にも、手をかざすだけでページがめくれる「不思議な妖精図鑑」や「妖精オルゴール」などの、不思議な仕掛けもいっぱいなんだ。

面白そうなところだね。でも、ミヤリーが行っても楽しめるかな？

大丈夫だよ。ここは、子どもから大人まで楽しめるようになっているんだよ。ミヤリーには、のぞくと妖精が飛び出して見える「妖精カメラ」とか、引き出しを開けると妖精が飛び出す家具がある「妖精博士の部屋」がオススメかな。

妖精が飛び出すの？すごいね。見てみたいな。

他にも、音楽コンサートや、本の読み聞かせなどもやっているから、楽しさいっぱいだよ。是非、行ってね！



◎俳歌柳壇 応募方法 1人に付き俳句3句、短歌3首、川柳3句以内。対象は市内在住の人で、未発表作品に限ります。はがきに、作品・住所・氏名・ふりがな・応募する壇名を書き、毎月20日（消印有効）までに、〒320-8540市役所広報広聴課へ。俳句・短歌・川柳の併記は不可。☎広報広聴課 ☎(632)2028